

令和4年度 わかりやすい 瑞穂市の市政方針

瑞穂市の令和4年度の予算の
あらましと主な事業について



瑞穂市マスコットキャラクター「かきりん」

～まちの将来像～
誰もが未来を描けるまち 瑞穂

令和4年度瑞穂市の市政方針にあたって

令和4年度予算においては、第2次総合計画後期計画の2年目となり、引き続き瑞穂市の将来像である“誰もが未来を描けるまち 瑞穂”を達成するため、分野別重点施策を中心に着実に進めてまいります。さらに、令和4年度の瑞穂市の成長戦略の柱として、次の3点を実現に向けて取り組んでまいります。



1点目は、地方創生の3つの拠点事業を見える形で成長させていきます。

まず、中山道大月多目的広場は、市で初めてのネーミングライツを導入し「**サンコー**サンコーパレットパーク」を愛称として4月にオープンしました。新たに地方創生の視点を取り入れ、季節に応じた特産品の販路拡大や賑わいを創出するなど、集客、関係人口や交流人口を増やす拠点になります。そのために、中山道沿いの賑わいを創出する“中山道まちづくり基本構想”を今年度策定していきます。

次に、JR穂積駅周辺のまちづくりは、現在「JR穂積駅周辺整備基本計画」を策定しています。駅南口へのアクセスポイントとなる主要地方道北方多度線の別府交差点改良事業を開始するとともに、ハード事業・ソフト事業を織り交ぜながら、JAぎふ穂積支店跡地の暫定的な活用の検討などを進めていきます。

最後に、犀川遊水地周辺の整備は、今年3月に「犀川遊水地グリーンインフラ事業基本構想」を策定しましたので、この構想に基づき「アクアパークみずほ」を含めた犀川・五六川周辺のかわまちづくり計画へと進めていきます。

2点目は、令和5年5月の市制20周年に向けての取り組みを進めていきます。市制20周年を迎えるにあたり、20周年を単に点で捉えるのではなく、いつまでも続く線で成長させていく計画を策定する年にします。その成長戦略として「人権」「平和」「環境」の3つを将来へ向けて、次世代への発信として記念事業を展開していきます。

3点目は、私のマニフェストである“健幸都市みずほ”の施策の推進です。市民の皆様が健康で生きがいをもち、幸せな暮らしを実現することができるよう、子どもから高齢者までの福祉の充実について、実現に向けた事業を展開していきます。

また、現下の喫緊の課題である「新型コロナウイルス感染症対策」については、市民の安全・安心を第一に今年度においても対応してまいります。「コロナ対策を継続しつつ、今まで机上で進めてきた計画を見える形で実現させて、活気あふれるまちであり続けるため、さらに住みこちを向上させるための基盤整備」を市政方針として進めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。日本でも積極的に取り組まれており、本市においてもSDGsに参画できる取組を推進することとします。

目次

◆ 予算概要

・予算規模について	3	・歳出（支出）について	5
・歳入（収入）について	4	・税金、市民1人当たりの予算について	6

◆ 第2次総合計画5つの基本目標と共通目標に基づく主な事業

基本目標1：～安全で安心して暮らせるまち～

・常備消防整備事業	7	新 古橋地内遊水池第1期整備事業	8
・非常備消防整備事業	7	・防犯カメラ設置事業	8
・防災備蓄事業	7		

基本目標2：～便利で快適に暮らせる美しいまち～

・瑞穂処理区下水道施設整備事業	9	・上水道施設整備事業	10
新 (仮称) 犀川・五六川周辺かわまちづくり 計画策定事業	9	・橋りょう長寿命化修繕事業	10
・可燃ごみ処理事業（西濃環境整備組合負担金）	10	新 (仮称) 美江寺歩道橋整備事業	11
		・道路維持補修事業	11

基本目標3：～心が通う助け合いのまち～

・子ども家庭総合支援拠点事業	12	新 障害者計画等策定事業	14
・ひとり親家庭の子どもたちの生活・学習支援事業	12	拡 保健衛生に関する各種助成事業	14
拡 3歳児健康診査事業 視覚検査（屈折検査）の導入	12	・新型コロナウイルスワクチン追加 （3回目）接種事業	14
・地域包括ケアシステムの構築関連事業	13	・国民健康保険事業	15
拡 高齢者タクシー利用助成事業	13	・後期高齢者医療事業	15
・特殊詐欺被害防止対策機器（通話録音装置） 設置補助事業	13	新 屋内温水プール施設利用助成事業	16
		・自治会活動支援事業	16

基本目標4：～夢あふれ希望に満ちたまち～

新 地方創生事業 （中山道まちづくり基本構想推進分）	16	新 名和昆虫博物館体験講座	18
新 木育推進事業	17	・英語教育推進事業 グローバル化対応教育の推進	18
新 公私連携型保育所整備事業	17	・小学校・中学校 ICT 教育推進事業	19
新 保育所 AI 入所選考システム導入事業	17	・小学校・中学校施設整備事業	19
新 食育事業	18	・生涯学習施設改修等事業	19

基本目標5：～活気あふれる元気なまち～

拡 JR 穂積駅圏域拠点化構想事業 （基本目標2にも共通する事業です）	20
---	----

共通目標：～持続可能な都市経営のまち～

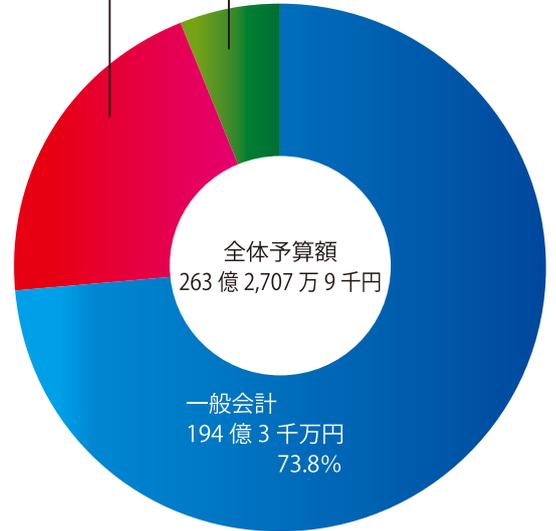
新 市制20周年記念事業	21	・新庁舎建設事業	22
新 議会映像配信事業	21	新 SDGs 推進事業	23
・まちづくり基本条例推進事業 （基本目標3にも共通する事業です）	22		

新：新規事業 **拡**：規模を拡大する事業、もしくは事業内に新規の施策等が含まれるもの

令和4年度の瑞穂市の予算規模は？

一般会計・特別会計・企業会計の予算を合わせると、
263億2,707万9千円です。

特別会計 53億5,639万1千円 20.3%
企業会計 15億4,068万8千円 5.9%



一般会計 福祉、医療、子育て、教育、道路や公園の整備など、市民の暮らしや、まちづくりに必要な基本的な行政サービスを行う会計です。
市税収入は、主にこの一般会計で使われています。

特別会計 保険税など特定の収入によって事業を行い、その収支を明確にするために一般会計とは別に設置した会計です。

企業会計 民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。

各会計の予算規模は、どのくらいあるの？

区分		予算額	前年比（増減額）	事業内容
一般会計		194億3,000万円	8億円	福祉、教育、社会基盤整備などの基本的な行政サービス
特別会計	国民健康保険事業	46億7,089万1千円	2億344万円	国民健康保険に加入しているかたの医療費を給付
	後期高齢者医療事業	6億6,010万4千円	7,235万5千円	75歳以上のかたの医療費を給付
	農業集落排水事業	2,539万6千円	△51万8千円	呂久地区における污水処理施設の管理
企業会計	水道事業	9億5,070万4千円	△6,553万2千円	水道水の供給 水源・水道管の整備・維持管理
	下水道事業	5億8,998万4千円	△8,279万5千円	雨水・汚水管の整備・維持管理 下水処理場の施設整備

一般会計歳入（収入）



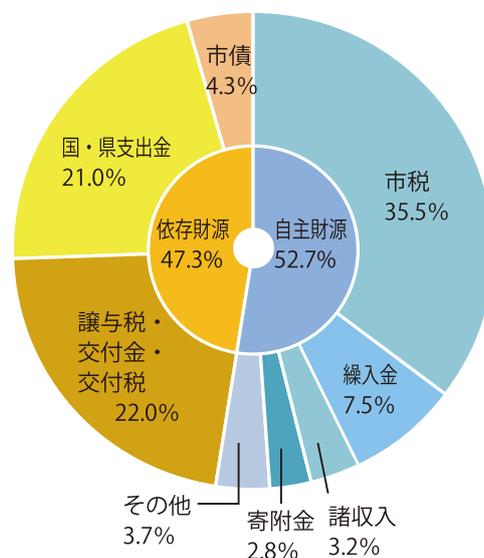
一般会計には、どのような歳入があるの？

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、金融機関などからの借入れや施設の使用料などがあります。

ここがポイント

約53%が自主財源です。自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の大部分は市税です。

今年度は、地方交付税や国・県支出金が増加となる見込みですが、市債や諸収入は減少となる見込みです。



一般会計歳入予算（目的別）

区分	説明	予算額	前年度比（増減額）
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	102億3,448万5千円	3億8,658万2千円
市税	市民の皆さんや市内に事務所を持つ法人に納めていただくものです。	68億9,248万8千円	1億1,299万円3千円
繰入金	一般会計、特別会計および基金の間において現金を移動することです。	14億5,820万3千円	2億3,674万
諸収入	もとす広域連合派遣職員負担金や給食費負担金などの収入です。	6億1,349万円9千円	△1,864万1千円
寄附金	ふるさと納税によるふるさと応援寄附金や一般の寄附金です。	5億5,106万2千円	5,097万9千円
その他	不動産売り払いなどの財産収入、使用料および手数料、分担金および負担金、前年度からの繰越金などです。	7億1,923万3千円	451万円1千円
依存財源	国や県から、交付されたり割り当てられる財源や市債（借金）のことです。	91億9,551万5千円	4億1,341万8千円
譲与税・交付金・交付税	皆さんが国に納めた税金の一部で、一定の基準により市に交付されます。	42億8,117万円	4億5,387万円
国・県支出金	皆さんが国・県に納めた税金の一部です。市の行う事業の全部または一部に交付されます。	40億8,684万5千円	3億6,624万8千円
市債	市が行う事業で、特に大きな事業を実施する場合に必要な財源を調達するための借金です。	8億2,750万円	△4億670万円
計		194億3,000万円	8億円

※7ページ以降の各事業の財源について、上記の繰入金、諸収入、寄附金、その他の合計を「その他」として表記しています。

一般会計歳出（支出）



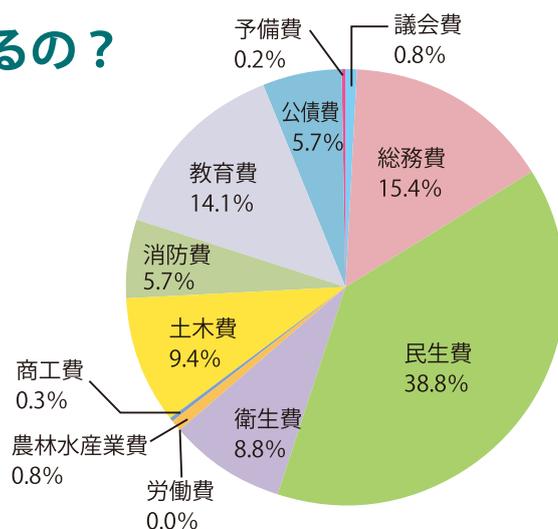
どんな分野（目的）の歳出があるの？

総務、民生、教育などの分野に分けて支出します。

ここがポイント

歳出では、社会福祉費、障害者福祉費など社会保障関連経費の増額により民生費が大きく増加しており、全体の約 4 割を占めております。また、教育施設の大規模改修などにより、教育費も大きく増加しています。

一方、各事業内容について見直し、経費の削減に取り組んだことにより、議会費、農林水産業費、商工費、土木費については前年より減となっております。



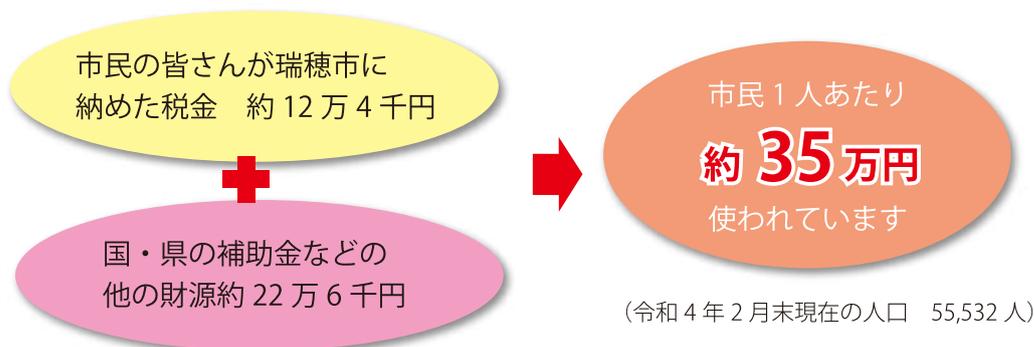
一般会計歳出予算

項目	説明	予算額	前年度比（増減額）
議会費	議会運営のための経費です。	1億6,101万5千円	△223万3千円
総務費	庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計等の経費です。	29億9,687万3千円	3,396万4千円
民生費	障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護等の経費です。	75億4,624万8千円	2億1,020万6千円
衛生費	健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費等の経費です。	17億96万4千円	1億6,902万6千円
労働費	労働者などの支援費等の経費です。	500万円	増減なし
農林水産業費	農業の振興を図るための支援や生産基盤整備等の経費です。	1億5,188万5千円	△769万7千円
商工費	商工業や観光の振興等の経費です。	6,407万6千円	△918万6千円
土木費	道路、河川、公園など社会資本基盤整備等の経費です。	18億3,109万2千円	△6,591万5千円
消防費	消防や火災予防、水防など災害対策のための経費です。	11億815万円	1億219万8千円
教育費	学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興等の経費です。	27億2,885万1千円	2億5,323万9千円
公債費	市債の元利償還金および一時借入金利子を支払うための経費です。	11億584万6千円	1億1,639万8千円
予備費	予算編成の際、予期しなかった予算外の支出に対応するための科目です。	3,000万円	増減なし
計		194億3,000万円	8億円

瑞穂市に入る税収は、何種類あるの？

項目	内容	令和4年度予算額	前年度比(増減額)
市民税(個人)	個人の前年中の所得等に応じて納める税金です。	29億5,295万円	7,745万円
市民税(法人)	市内の法人の所得等に応じて納める税金です。	2億8,315万7千円	561万円
固定資産税	市内に土地、家屋、償却資産を持っているかたが納める税金です。	31億9,400万3千円	1,125万5千円
軽自動車税	市内に原動機付自転車、軽自動車等を持っているかたが納める税金です。購入時に納める「環境性能割」も含まれます	1億4,788万2千円	577万8千円
市たばこ税	たばこを買ったかたが負担している税金です。	3億1,449万6千円	1,290万円
計		68億9,248万8千円	1億1,299万3千円

市民1人当たり、いくら使われているの？



ふるさと納税はどんな事業に活用しているの？

全国の皆さんから寄附いただいたふるさと応援寄附金は、ふるさと応援基金としていったん積み立てをしています。令和4年度は、そのうち5億8,300万円を取り崩し、下記の事業の財源に活用します。

- ・岐阜市消防事務委託料(救助工作車更新)
- ・瑞穂市農業振興会補助
- ・駅西会館駐車場用地購入
- ・みずほふれあいフェスタ
- ・道路維持補修(舗装・区画線など)
- ・行政オンライン化システム導入
- ・河川維持修繕
- ・男女共同参画推進事業
- ・都市公園防犯カメラ設置
- ・子育て世代包括支援センター事業
- ・子育て応援サイト使用料
- ・公共交通事業
- ・若年の健康づくり事業
- ・地域ブランド戦略事業
- ・乳幼児等インフルエンザ予防接種助成事業
- ・人権施策推進指針策定事業
- ・保育所施設修繕および物品購入
- ・高齢者交通費助成事業
- ・保育所AI入所選考システム導入費
- ・穂積駅前対策事業
- ・幼稚園および小中学校施設修繕
- ・小中学校ICT教育推進事業
- ・外国語指導助手(ALT)派遣事業
- ・給食センター運転業務アウトソーシング
- ・生涯学習地域振興組織補助金
- ・中山道まちづくり基本構想事業
- ・市史編纂事業
- ・地域コミュニティ活動費

◆ 第2次総合計画5つの基本目標と共通目標に基づく主な事業

基本目標1：～安全で安心して暮らせるまち～

事業

常備消防整備事業



担当課

企画部
市民協働安全課

予算額

R4 8億5,793万円
R3 7億5,548万円

財源

県市債 22万円
市 4,520万円
市 7億2,246万円
その他 9,005万円

火災その他の災害から市民を守り、急病や突然のケガに見舞われたかたを医療機関に搬送するための消防力を整備します

瑞穂消防署（別府）および巢南分署（森）の2か所に拠点を整備した上で、消防・救急業務を岐阜市に委託をしています。

◆ 令和4年度 主な新規事業

- ・救助工作車の更新



事業

非常備消防整備事業



担当課

企画部
市民協働安全課

予算額

R4 1億2,795万円
R3 1億2,826万円

財源

市債 3,230万円
市 9,559万円
その他 6万円

地域の消防力の強化を図ります

各小学校区ごとに消防団（分団）を配置し、各分団ごとに活動の拠点となる詰所を設置しています。

また、消防団の活動に必要な消防ポンプ車等の資機材や消火活動に必要な水源（消防水利）の整備および維持管理を行います。

◆ 令和4年度 主な新規事業

- ・消防ポンプ車の更新



事業

防災備蓄事業



担当課

企画部
市民協働安全課

予算額

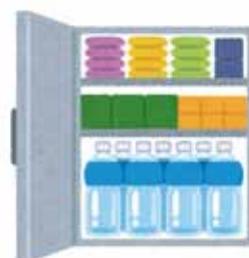
R4 1,920万円
R3 1,922万円

財源

国 916万円
県 50万円
市 954万円

災害に備え、避難所等で使用する食料、水、消耗品、資機材などを購入し、備蓄します

避難所等で使用する食料、水、消耗品、資機材等を購入・備蓄すると共に、新型コロナウイルス感染症対策用資機材の購入・備蓄も行います。



新

事業

古橋地内遊水池第1期整備事業



担当課 都市整備部
都市開発課

予算額 R4 1億9,576万円

財源 市債 1億8,800万円
市 776万円

遊水池の整備を進めます

近年の激甚化する自然災害等から市街地の安全を確保するため、古橋地内に遊水池の整備を行います。

◆令和4年度実施内容

- ・遊水池整備工事（第1期）
- ※令和6年度までの3か年事業の予定



事業

防犯カメラ設置事業



担当課 都市整備部
都市管理課

予算額 R4 482万円
R3 358万円

財源 市 82万円
その他 400万円

都市公園内に防犯カメラを設置します

市内の都市公園内における不審者対策や犯罪行為の抑止および事件事故発生後の証拠画像の保存・検証を目的として、平成31年度より4か年（令和4年度最終）にわたり順次防犯カメラの設置を実施し、より安全・安心な都市環境整備を実施します。

◆令和4年度実施内容

- ・小簾紅園
- ・上牛牧ふれあい公園
- ・前畑公園
- ・滝坪公園
- ・祖父江公園
- ・穂南公園



小簾紅園



上牛牧ふれあい公園



前畑公園



滝坪公園



祖父江公園



穂南公園

事業

瑞穂処理区下水道施設整備事業



担当課

環境水道部
下水道課

予算額

R4 2億7,500万円
R3 3億5,085万円

財源

国 9,930万円
企業債 1億4,040万円
市 3,530万円

豊かな水環境を未来に届けます

汚水処理施設整備の普及は遅れています。そのため、河川や水路は生活雑排水などにより汚れています。

公用水域の水環境の改善や都市基盤の構築のために、令和2年度から瑞穂処理区下水道施設整備事業に着手し、令和8年度末の一部供用開始を目指しています。令和4年度は設計施工一括発注方式*による事業者の公募と選定を行い、管路施設と処理施設（アクアパークみずほ）の詳細設計を行います。

また処理場内の水路移設工事を行います。



アクアパークみずほ暫定整備イメージ図

◆令和4年度 実施内容

- ・管路施設、処理施設の詳細設計
- ・処理場内の水路移設工事

*設計施工一括発注方式とは、実施設計と施工を一括で発注することにより、民間の優れた技術を活用し、設計施工責任の一元化、品質確保、合理的な設計、事業期間の短縮を目指す方式です。

新

事業

(仮称) 犀川・五六川周辺 かわまちづくり計画策定事業



担当課

都市整備部
都市開発課

予算額

R4 825万円

財源

市 825万円

自然豊かな水辺空間を活かし賑わいを創出します

自然環境が有する多様な機能を活かし、水辺とまちを融合させた賑わいの創出を目指し、犀川遊水地グリーンインフラ基本構想に基づくかわまちづくり計画策定への検討を進めます。

◆令和4年度 実施内容

- ・かわまちづくり計画策定検討業務
(基本方針および事業メニュー等の検討)



事業

可燃ごみ処理事業 (西濃環境整備組合負担金)



担当課

環境水道部
環境課

予算額

R4 2億1,686万円
R3 2億1,121万円

財源

市 1億8,171万円
その他 3,515万円

ごみ減量に向けて取り組んでいます

資源ごみの分別を推進し、一般家庭の可燃ごみの量を減らす施策を進めています。

可燃ごみの焼却処理は、3市7町で組織する西濃環境整備組合の施設で行っています。焼却処理や施設に要する経費は、ごみの搬入量、国勢調査人口の割合などに基づき各市町が負担しています。



西濃環境整備組合

事業

上水道施設整備事業



担当課

環境水道部
上水道課

予算額

R4 3億6,354万円
R3 4億3,749万円

財源

市 2,898万円
その他 3億3,456万円

安全で安定した水をいつまでも

「安全」、「持続」、「強靱」の観点からなる施策を実施し、市民のライフラインとして持続可能な事業運営を推進します。

◆令和4年度 実施内容

- ・水源地内設備更新工事
- ・重要給水施設管路耐震化工事
- ・基幹・幹線管路網更新工事
- ・配水管改良工事（老朽管の更新）
- ・配水管拡張工事



別府水源地1号配水池

事業

橋りょう長寿命化修繕事業



担当課

都市整備部
都市管理課

予算額

R4 3,832万円
R3 5,277万円

財源

国 1,815万円
市債 720万円
市 1,297万円

老朽化した橋りょう・道路などの点検や維持管理を進めます

橋りょう長寿命化計画に基づき修繕工事を実施するとともに、市内にある2m以上の橋りょうについて点検を実施します。

◆令和4年度 実施内容

- ・修繕工事（1橋）
- ・点検（599橋のうち137橋）



修繕工事（上五六橋）

事業 (仮称) 美江寺歩道橋整備事業



担当課 都市整備部
都市開発課

予算額 R4 1,520 万円

財源 市 1,520 万円

歩道橋の整備を進めます

一級河川犀川に架かる美江寺橋を通行する歩行者・自転車通行者の安全を確保するため、既存の橋に併設する歩道橋の新設整備を行います。

◆令和4年度 実施内容

- ・詳細設計業務
- ・地質（ボーリング）調査
- ・河川協議



事業 道路維持補修事業



担当課 都市整備部
都市管理課

予算額 R4 1億9,216 万円
R3 1億4,850 万円

財源 市債 1,320 万円
市 1億3,496 万円
その他 4,400 万円

安全な道路環境の充実を図ります

安全な道路環境の確保のため、舗装や側溝等の修繕工事を実施します。

また、歩行者や自転車等への安全性の向上のため、小中学校の指定通学路や宅地開発が進んでいる地域の区画線の更新、水路転落防止柵の設置を行います。

◆令和4年度 実施内容

- ・舗装・側溝補修
- ・区画線の更新
- ・水路転落防止柵設置



整備前 (稲里地内)



整備後



整備前 (稲里地内)



整備後

事業 子ども家庭総合支援拠点事業



担当課 健康福祉部
子ども支援課

予算額 R4 917万円
R3 778万円

財源 国 302万円
県 8万円
市 607万円

子育てに関するさまざまな相談ができる、「子ども家庭総合支援センター」を設置しています

子ども（18歳未満）とその世帯等の子育てに関するさまざまな問題（虐待、生活困窮、養育困難等）に対して専門職員が相談対応し、実情等を把握した上で、利用可能な制度の情報提供、子育て等に関する助言、関係機関との連携等を通じて、子どもの健全な成長を支援します。

また、経済的困窮等の課題や困難を抱える子どもやその世帯に対し必要な支援につなげる取組を実施します。



事業 ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業



担当課 健康福祉部
子ども支援課

予算額 R4 371万円
R3 369万円

財源 県 278万円
市 93万円

ひとり親家庭の子どもの生活・学習の支援をします

ひとり親家庭の中学生を対象に、学習習慣の定着、基本的な生活習慣の習得の支援を通して、ひとり親家庭の生活向上を図ります。

◆令和4年度 実施内容

- ・少数指導（支援員1人に生徒5人）
- ・利用料は無料
- ・教科は英語、数学
- ・市内の公共施設にて実施
- ・新型コロナウイルス感染拡大の場合は、オンライン授業等により実施



拡

事業 3歳児健康診査事業 視覚検査（屈折検査）の導入



担当課 健康福祉部
健康推進課

予算額 R4 234万円

財源 国 117万円
市 117万円

日常生活では気づかれにくい視力障害を早期発見するための視覚検査を導入します

日常生活では気づかれにくい視力障害である屈折異常、斜視に伴う弱視（視力発達の遅れ）を発見し、早期治療へつなげるため視覚検査を導入します。



◆実施方法：3歳児健康診査において検査を行います。

◆検査内容：屈折測定機器（スポットビジョンスクリーナー）を用いて検査します。モニターの画面を数十秒見つめることで検査が可能です。

事業

地域包括ケアシステムの構築関連事業



担当課

健康福祉部
地域福祉高齢課

予算額

R4 9,188 万円
R3 8,874 万円

財源

市 2,168 万円
その他 7,020 万円

「地域包括ケアシステムの構築」を進めます

介護が必要となっても住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことを目的に、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいが切れ間なく提供できる体制の構築（＝地域づくり）を目指します。



◆地域包括ケアシステムの構築に向けた主な事業

- ・介護予防・日常生活支援総合事業
- ・生活支援体制整備事業
- ・認知症総合支援事業
- ・在宅医療・介護連携推進事業
- ・成年後見制度利用促進事業



認知症総合支援事業において高齢者の見守りを行っています。このバッジを付けたかたが一人であるのを見かけたら、お声掛けをお願いします。

拡

事業

高齢者タクシー利用助成事業



担当課

健康福祉部
地域福祉高齢課

予算額

R4 428 万円
R3 743 万円

財源

市 28 万円
その他 400 万円

高齢者のタクシー利用助成の対象要件を見直します

高齢者の外出を支援するため、75歳以上のかたを対象にタクシーチケットを交付しています。令和2年10月に対象要件を緩和しましたが、さらに見直しを行います。

◆対象者の要件

免許を有していても、自動車を運転していなければ助成を受けられます。(令和4年10月～)

◆助成内容

乗車1回あたり540円分(上限額)のタクシーチケットを年間最大24枚交付



事業

特殊詐欺被害防止対策機器(通話録音装置)設置補助事業



担当課

健康福祉部
地域福祉高齢課

予算額

R4 25 万円
R3 100 万円

財源

市 25 万円

特殊詐欺被害対策機器の購入・設置費用を補助します

特殊詐欺による被害を防止するため、高齢者世帯等が特殊詐欺の被害を未然に防止するための機能を有する電話機や電話機に接続して用いる機器を購入・設置した場合に、その費用の一部を補助します。

◆対象者

高齢者のみで構成される世帯又は日中において高齢者のみとなることが常態である世帯のかた など

◆補助金額

補助対象機器の購入および設置に要する費用の2分の1(上限 5,000円)



新

事業 障害者計画等策定事業



担当課 健康福祉部
福祉生活課

予算額 R4 235 万円

財源 市 235 万円

第3期障がい者総合支援プランを策定します

第2期瑞穂市障がい者総合支援プランが令和5年度で終了するため、第3期（令和6～8年度）のプラン策定を開始します。

令和4年度はアンケート調査を行います。

障がい者総合支援プラン



- 1 障害者計画（障害者の自立支援等のための施策の推進）
- 2 障害福祉計画（障害者サービスの提供体制の確保）
- 3 障害児福祉計画（障害児通所支援サービスの確保等）

拡

事業 保健衛生に関する各種助成事業



担当課 健康福祉部
健康推進課

予算額 R4 996 万円
R3 527 万円

財源 県 25 万円
市 71 万円
その他 900 万円

◆乳幼児等インフルエンザワクチン接種助成事業（年齢拡大）

季節性インフルエンザの流行の抑制、ウイルス罹患による重症化の予防を図ります。

※助成対象年齢を中学校3年生までに拡大します。

（従前は小学校2年生まで）

対象年齢	生後6か月から中学校3年生までのかた
助成額	1回あたり1,000円
接種場所	市内の指定医療機関

◆小児がん患者ワクチン再接種費用助成事業

骨髄移植手術その他の理由により、接種済の定期的予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された場合の、再度の予防接種に要する費用を助成します。



◆がん患者医療用補正具購入費助成事業

がん患者の治療と就労、社会参加等との両立を支援し、療養生活の質の向上を図るため、医療用ウィッグまたは乳房補正具を使用するかたに購入費の一部を助成します。

事業 新型コロナワクチン追加（3回目）接種事業



担当課 健康福祉部
健康推進課

予算額 R4 1億2,626万円
R3 繰越 1億5,524万円

財源 国 2億8,140万円
市 10万円

予防接種法に基づく「新型コロナワクチン追加（3回目）接種」を安全かつ円滑に実施するために、接種体制を継続的に確保します

接種対象者	初回（1・2回目）接種完了から8か月以上経過した18歳以上のかたを対象としますが、国が示す「8か月以上の経過を待たずに追加接種を実施する場合の考え方について」に基づき、前倒し接種を順次行っていきます。	
初回（1・2回接種）	初回（1・2回目）接種についても、接種希望のかたへ円滑に接種が行えるよう、医療機関と連携して、継続的に接種体制を確保していきます。	
費用	接種は無料です。市から発送する接種券などが必要です。	
市の役割	○接種の実施体制の確保 ○接種券、予診票、案内等の印刷・発送 ○相談体制等の確保等	

事業

国民健康保険事業



担当課

市民部
医療保険課
税務課

予算額

R4 46億7,089万円
R3 44億6,745万円

財源

県市 32億1,191万円
3億3,489万円
その他 11億2,409万円

国民健康保険加入者を対象に保険給付事業、保健事業、国民健康保険税の賦課・徴収事務を行っています

令和4年度は保険税率の所得割を0.04%下げました。(医療給付分)

令和4年1月末の被保険者数 (前年の被保険者数、比較)	9,749人 (9,933人、1.9%減少)
令和4年1月末の加入世帯数 (前年の加入世帯数、比較)	6,149世帯 (6,203世帯、0.9%減少)
令和2年度特定健康診査受診率 (平成31年度の受診率) ※法定報告値	46.0% (46.7%)

◆主な保健事業

- ・特定健康診査
- ・特定保健指導
- ・特定歯科健診
- ・特定健診受診者を対象にした料理教室
- ・人間(脳)ドック費用助成事業

◎脳ドックの検査費用を助成(上限あり)

国が推進する健康寿命の延伸および「健幸都市みずほ」の政策として、人間ドック助成に加え、主要な死因のひとつである脳血管疾患の予防・改善を図ります。

事業

後期高齢者医療事業



担当課

市民部
医療保険課

予算額

R4 6億6,010万円
R3 5億8,775万円

財源

市 6億2,989万円
その他 3,021万円

後期高齢者医療加入者を対象に保険料の賦課・徴収事務、保健事業を行っています

令和4年1月末の被保険者数 (前年の被保険者数、比較)	5,749人 (5,609人、2.4%増加)
令和2年度すこやか健康診査受診率 (平成31年度の受診率) ※法定報告値	43.5% (43.3%)
令和2年度さわやか口腔健康診査受診率 (平成31年度の受診率) ※法定報告値	8.3% (8.1%)

◆主な保健事業

- ・すこやか健康診査
- ・さわやか口腔健康診査
- ・人間(脳)ドック費用助成事業
- ・9020運動

◎9020運動(90歳で自分の歯を20本保とう)の実施

超高齢化社会にあたり「健幸都市みずほ」の政策の下に、市民の健康づくりと健康寿命の延伸に関する啓発事業として対象者を表彰します。

新

事業 屋内温水プール施設利用助成事業



担当課 健康福祉部
地域福祉高齢課

予算額 R4 260 万円

財源 市 260 万円

40 歳以上のかたを対象に屋内温水プール「ゆ〜みんぐ」の回数入場券の半額を助成します



介護予防を推進し、健やかで幸せに暮らせる地域社会を目指して、40歳以上のかたを対象に、揖斐郡大野町の屋内温水プール「ゆ〜みんぐ」の11枚綴り回数入場券の購入費用の半額を助成します。



対象区分	通常料金	実質負担額
大人 (40 ~ 69 歳)	5,000 円	⇒ 2,500 円
高齢者 (70 歳 ~)	3,000 円	⇒ 1,500 円
障がい者 (40 歳 ~)	1,000 円	⇒ 500 円
およびその介護者 (40 歳 ~)		

※ 1 人につき年間 1 2 冊を上限とします

事業 自治会活動支援事業



担当課 企画部
市民協働安全課

予算額 R4 5,000 万円
R3 7,229 万円

財源 市 5,000 万円

単位自治会・小学校区自治会連合会等のコミュニティ活動を推進し、地域共生社会を目指します

少子高齢化や自然災害などを背景とし、地域コミュニティの必要性や重要性がより高まっています。非常時に機能する地域コミュニティは、常日頃からの取り組みが重要です。自治会や校区自治会連合会等が活動目的を再確認し、より有意義な活動が実施できるよう支援します。

また、地域活動の拠点となる公民館の改修・新築を支援し、コミュニティの推進につながる活動に活用いただけるよう啓発します。



基本目標 4 : ~夢あふれ希望に満ちたまち~

新

事業 地方創生事業 (中山道まちづくり基本構想推進分)



担当課 教育委員会
生涯学習課

予算額 R4 1,175 万円

財源 国 588 万円
市 87 万円
その他 500 万円

中山道沿線の主要施設 (小簾紅園・ サンコーパレットパーク (中山道大月多目的広場)・美江寺宿) を観光等魅力発信拠点として、中山道で賑わいを創出する構想・計画を策定します

- ◆ 基本構想策定業務 655 万円
- ◆ 民間活力導入可能性調査 520 万円



新

事業

木育推進事業



担当課

教育委員会
幼児教育課

予算額

R4 199万円

財源

県市
99万円
100万円

ふるさと岐阜県、瑞穂市に誇りと愛着を持ち、次の世代につなぐことのできる人材を育成します

県が推進する「ぎふ木育 30 年ビジョン」に沿って、未就学児の木育体験の場を創設し、ビジョンの第 1 ステップとなる「ふれあう、親しむ」経験を多くの子どもに提供します。

「岐阜県ぎふの木育教材導入支援事業」、「岐阜県ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業」を活用し、保育所、子育て支援センターにぎふ証明材を使用した木のおもちゃ等を購入します。

また、子育て支援センターでより多くのかたが木育を体験できる行事等を実施し、「ぎふ木育ひろば」としての認定を目指します。



新

事業

公私連携型保育所整備事業



担当課

教育委員会
教育総務課

予算額

R3 繰越 1億495万円

財源

市 1億495万円

老朽化した保育所を公私連携型保育施設として整備します

施設の老朽化や待機児童解消などのため牛牧第 1 保育所を公私連携型保育施設として整備します。

◆令和 4 年度 実施内容

- ・事業用地取得 ・事業用地造成のための設計業務委託
- ・事業用地造成工事（令和 4～5 年度）予定 ※令和 6 年度末事業完了予定



新

事業

保育所 A I 入所選考システム導入事業



担当課

教育委員会
幼児教育課

予算額

R4 461万円

財源

市 461万円

保育所の入所判定に A I を活用し、公平・正確な選考を実現、住民サービスの向上を目指します

子育て中の若い世帯の多い当市では、毎年度多くのお子さんの保育所申し込みを受け付けます。

そして、希望の保育所に入れるかどうかの入所判定は、保護者等の就労状況やごきょうだい関係等、多くの条件から優先順位をつけ行いますが、大変複雑で膨大な時間のかかる事務です。

この事務に、A I を活用したシステムを導入することで、入力作業の時間短縮と、A I による複雑な条件設定に沿った正確な選考が短時間で可能になります。



新**事業****食育事業****担当課**教育委員会
給食センター**予算額**

R4 34万円

財源国 12万円
市 22万円**生涯にわたり健康な食生活を送ることができる「生きる力」の育成を目指します**

食育の拠点となるべく、地域や保護者、学校などと連携し、食に関する体験活動を推進します。

また、食育事業を通じて児童・生徒と市長・教育長の意見交換を行います。

◆令和4年度 実施内容

- ・食育推進担当者会議
- ・地産地消の推進
- ・園児・児童・生徒への食育活動(図書給食など)
- ・市長・教育長と中学生ランチミーティング
- ・市民向け給食メニュー試食体験(キッチンカー)

**新****事業****名和昆虫博物館体験講座****担当課**教育委員会
生涯学習課**予算額**

R4 19万円

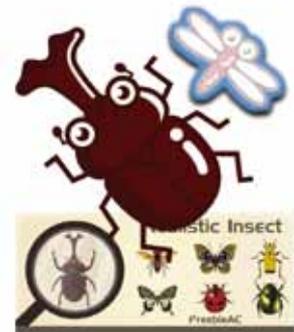
財源

市 19万円

名和昆虫博物館での体験講座を開きます

小学生が郷土出身の偉人である名和 靖氏の業績を知り、ふるさとに誇りをもつことや、昆虫について興味を持ち、さらに探求しようとする意欲をもつことをねらいとします。

- ◆対象：市内小学生 30名
- ◆内容：①館長の講話 ②博物館見学 ③標本作成の指導および体験

**事業****英語教育推進事業 グローバル化対応教育の推進****担当課**教育委員会
学校教育課**予算額**R4 5,369万円
R3 4,857万円**財源**市 369万円
その他 5,000万円**豊かな語学力やコミュニケーション能力を育成します**

- ◆小学校低学年から外国語活動を導入
- ◆中学年以上で教科としての外国語教育を開始
- ◆ALT(外国語指導助手)10人の配置(増員)
- ◆教師の英語力向上研修の継続実施
- ◆「ALT イングリッシュ サロン」の充実
- ◆英検 IBA の継続実施(全中学生対象)



事業 小学校・中学校 ICT 教育推進事業



担当課 教育委員会
教育総務課

予算額 R4 1,930 万円
R3 960 万円

財源 国 399 万円
市 531 万円
その他 1,000 万円

小中学校の ICT 教育を推進します

全ての子どもたちが ICT 機器を活用し、情報活用能力などを育成するとともに、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン授業にも対応する環境整備を行い、誰一人取り残すことのない公平な学びを実現させるため小中学校 ICT 教育を推進します。

◆令和 4 年度 実施内容

- ・回線増強工事
- ・デジタル教科書購入等
- ・児童生徒用タブレット等購入

事業 小学校・中学校施設整備事業



担当課 教育委員会
教育総務課

予算額 R4 4 億 9,893 万円
R3 1 億 421 万円

財源 国 6,660 万円
市債 9,880 万円
市 6,753 万円
その他 2 億 6,600 万円

学校施設の教育環境の充実を図ります

老朽化している施設を計画的に維持修繕し、良好な教育環境を充実させるため小中学校施設整備を推進します。

◆令和 4 年度 実施内容

- ・小中学校大規模改修（令和 4～5 年度）
- ・穂積中学校屋外運動場整備

事業 生涯学習施設改修等事業



担当課 教育委員会
生涯学習課

予算額 R4 8,417 万円
R3 1 億 1,640 万円

財源 市 8,417 万円

生涯学習施設維持管理計画に基づき施設の改修を実施します

◆令和 4 年度 改修箇所

- ・総合センター
調光盤更新工事



拡

事業

J R穂積駅圏域拠点化構想事業 (基本目標2にも共通する事業です)



担当課

企画部 総合政策課
都市整備部
穂積駅圏域拠点整備課

予算額

R4 1億6,575万円
R3 2億3,311万円

財源

国 4,521万円 市 1,264万円
市債 2,790万円 その他 8,000万円

にぎわいを担う「ひと」づくりと便利で快適な「まち」づくりで、圏域15万人の拠点化に取り組みます

圏域のプラットフォーム『みんなの“心”をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ』実現に取り組みます。

ソフト事業では、にぎわいの取り組みの主体を地域組織へとシフトしつつ、さらなるにぎわい施策の充実と情報発信力の強化により、活動の見える化を図ります。

ハード事業では、拠点形成の実現に向けて必要な基盤整備の基本的な方針等となる「瑞穂市J R穂積駅周辺整備基本計画」の策定等を行うとともに、短期的に実現可能な交通機能等の改善に向けた取り組みを進めます。



民間企業との連携によるにぎわい創出

◆令和4年度 実施内容

【ソフト事業】J R穂積駅周辺地域の活性化

- ・地域コミュニティ強化による地域課題の改善
- ・駅周辺の活動の担い手である地域組織の基盤強化と運営の支援
- ・J A跡地等空きスペースを活用した活性化イベントや社会実験等の企画検討
- ・圏域企業や教育機関との連携強化による交流の拡大と人材発掘



地域組織による駅前イベントの開催

【ハード事業】J R穂積駅周辺整備事業の推進

- ・瑞穂市J R穂積駅周辺整備実施計画（案）の策定
- ・都市計画施設等（土地区画整理事業区域、駅前広場、幹線道路等）の都市計画（案）、事業計画（案）の作成
- ・交通機能等の改善に向けた用地取得、実施計画の作成



交通機能等の改善を計画している別府交差点

新

事業 市制 20 周年記念事業



担当課 企画部 総合政策課
総務部 総務課

予算額 R4 318 万円

財源 県市 78 万円
その他 150 万円
90 万円

令和 5 年 5 月、市制施行 20 周年を迎えます

市制 20 周年記念式典準備と実行委員会開催

記念事業を企画・運営する市制施行 20 周年記念事業実行委員会を開催します。また、令和 4 年度にはプレ事業としてキッチンカーマルシェや 100km ウォーキングを実施し、未来に向けた新たな出発点として気運を盛り上げ、瑞穂市のさらなる飛躍を目指します。



新

事業 議会映像配信事業



担当課 議会事務局

予算額 R4 324 万円

財源 市 324 万円

令和 4 年度から、議会映像配信を行います

市民が議会と市政に関心を持つよう議会広報活動の方法として、議会の本会議をインターネットでライブ中継と録画の配信を行っていきます。

映像配信

- ・市長提案説明、総括質疑、一般質問など議場での会議すべてライブ中継および録画配信

開始時期（予定）：令和 4 年 6 月議会定例会から



ホームページの議会映像配信へのQRコード



事業

まちづくり基本条例推進事業 (基本目標3にも共通する事業です)



担当課

企画部
市民協働安全課

予算額

R4 184万円
R3 315万円

財源

市 184万円

市民が主体の市民参画による協働のまちづくりを推進します

「まちづくり基本条例」に基づき、小学校区単位での「タウンミーティング」の実施や人材育成研修に取り組みます。

市民協働のまちづくりを推進するためには、何よりもベースとなる「地域コミュニティ」の充実が大切です。自治会や市民活動への支援を拡充するための中間支援組織等の検討を進めるほか、「アダプト・プログラム事業」の実施により地域への愛着を高め、地域コミュニティの活性化につなげます。



事業

新庁舎建設事業



担当課

総務部
財務情報課

予算額

R4 2億1,221万円
R3 2億276万円

財源

市 2億1,221万円

新庁舎建設基本計画策定に向けた検討作業を進めます

新庁舎建設基本計画に掲載すべき重要項目である建設候補地を決定するため、識見者、公共的団体等推薦者および公募委員により構成する、新庁舎建設検討委員会を組織し、検討を進めます。

新庁舎を建設するため、基金を積み立てます

現在使用している庁舎は老朽化、施設の狭さ、バリアフリーへの対応が十分でないため、令和14年の供用を目指して基金を30億円積み立てます。
(令和4年度末予定残高 12億732万円)



SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた事業を推進します

市では令和3年度に「瑞穂市SDGs推進本部」を立ち上げ、「SDGsパートナー・アドバイザー」の企業等と連携を図りながら、SDGsをテーマにした研修やイベントの開催、市のオリジナルロゴマークの募集を行いました。

今年度も引き続き、庁内および産学官との連携を図り、SDGsの普及啓発や、瑞穂市第2次総合計画後期基本計画に基づくSDGsの達成に向けた事業を推進します。

◆令和4年度 実施内容

- ・瑞穂市SDGsオリジナルロゴバッジ作成
- ・瑞穂市SDGsパートナー・アドバイザー推進会議の開催



瑞穂市SDGsオリジナルロゴマーク



瑞穂市民憲章

わたしたちは 揖斐 長良の清流とともに生き
長い歴史と文化に誇りを持ち 自由で住みよいまちづくりに
力を合わせていくことを ここに誓います

- 1 豊かな水と緑あふれる 美しいまちをつくります
- 1 健康で心がかよう 明るいまちをつくります
- 1 文化が香りスポーツに親しむ さわやかなまちをつくります
- 1 助けあい支えあう 優しいまちをつくります
- 1 夢をはぐくみ希望に満ちた 幸せなまちをつくります



市の木「桜」



市の花「あじさい」

令和4年度わかりやすい瑞穂市の市政方針

【発行】瑞穂市役所 総務部 財務情報課
〒501-0293 瑞穂市別府 1288 番地
電話 058-327-4131
ホームページ <https://www.city.mizuho.lg.jp>